

松濤園には4棟の展示館があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。その周りを三之瀬瀬戸を借景とした日本庭園が囲み、散策しながら歴史に触れることができる施設です。



色絵楼閣牡丹文蓋付大壺
元禄様式(1700-40年代)

The Journey of IMARI ~旅する伊万里~

江戸時代、伊万里焼はヨーロッパの宮殿を飾る調度品として輸出されていました。中でも柿右衛門様式や同時期の染付磁器、その後の金襴手を含む元禄様式の伊万里焼は大きな人気を博し、多くの磁器が船に積まれて伊万里港から旅立ちました。一部の西欧王侯貴族は、それらを「磁器の間」などと称した陳列室を設けて一堂に並べ、宮殿を飾りました。そのいくつかは現代にも大切に伝わり、かつての東西交流の証となっています。また、西欧の生活に合わせて生産された磁器や、現地へ渡ってから金属装飾が施された磁器なども多く残っています。

本展では所蔵の伊万里焼の中から、日本から海外に旅して現存するものや、西欧宮殿に残された作品と類似する品々をご紹介します。日本から旅立ち、遠い異国の地で王侯貴族を魅了した伊万里焼の名品をこの機会にお楽しみください。



朝鮮通信使欽待図屏風
江戸時代初期 紙本着色

朝鮮通信使 —ユネスコ「世界の記憶」登録から5周年—

2017年10月31日、朝鮮通信使に関する記録がユネスコ「世界の記憶」に登録されました。この記録は16世紀末に戦争によって分断された二国間の平和構築と文化交流の歴史の記録として、日本と韓国の民間団体による申請で、合わせて111件333点の資料が登録されました。松濤園からも、第10次の朝鮮通信使が瀬戸内海を大船団で航行している様子の描かれた『朝鮮人来朝覚 備前御馳走船行烈図』が登録されました。

本展ではユネスコ「世界の記憶」登録資料である『朝鮮人来朝覚 備前御馳走船行烈図』をはじめ、朝鮮通信使の「外交の記録」、「旅程の記録」、「文化交流の記録」を紹介します。



あかりの館

山口県上関から移築した商家を利用して、世界の灯火器を展示しています。



蒲刈島御番所

江戸時代、この下蒲刈にあった御番所を上関に現存している建物を参考に復元しています。

近代日本画壇の名品が、本格的木造建築の中鑑賞できます。

蘭島閣美術館

広島県呉市下蒲刈町三之瀬200-1 ☎0823-65-3066

小高い丘の上に建つ、洋画家・寺内萬治郎の常設展示館。

蘭島閣美術館別館

広島県呉市下蒲刈町三之瀬195 ☎0823-65-2500

京都洋画壇の巨匠、須田国太郎の常設展示館。

三之瀬御本陣芸術文化館

広島県呉市下蒲刈町三之瀬311 ☎0823-70-8088

8/24(水)~10/24(月)

『人の表現・暮らしの表現』

10/12(水)~1/16(月)

所蔵品への視点シリーズ・6

『LINE 一本の線から』

9/29(木)~12/5(月)

『須田国太郎のあゆみ』

松濤園
facebook

展示やイベント情報など、随時更新♪

QRコードをスキャンまたは、
下記アドレスより facebook ページへアクセス!

<https://www.facebook.com/shoutouen/> 🔍 検索



◆交通 Access

🚗 広島市内から車で約60分

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡って最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場から松濤園まで80m。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈!

詳しくは、くれ観光情報プラザ TEL.0823-23-7845 まで。

🚌 広島市内からバス

広島バスセンターから、さんようバス株式会社運行のバス「蒲刈・豊浜・豊」行きに乗車。下蒲刈町内の「見戸代」停留所、接続するバスに乗り「三之瀬」停留所下車。停留所から松濤園まで100m。

🚶 呉から電車とバス

JR 呉線で広島または仁方駅で下車し、駅前最寄りのバス停留所から瀬戸内産交株式会社のバス「田戸・大浦・宮農センター・沖友天満宮方面」行きに乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。停留所から松濤園まで100m。(バスは上下とも1時間に1本ほど運行しています。)



※新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止のため、今後開催を予定しております展示会が変更される場合がございます。最新情報は、当館のHPをご覧ください。